



最近、誰かに褒めてもらいましたか？

最近、「子どもたちを伸ばすために、褒めることは大切」というお話を伺う機会がありました。「いいことをした時はもちろん、よくないことをした時でも褒めることを忘れないこと。一つの行為の中には“よいところ”も“そうでないところ”もあるので、よいところは褒めてあげて、よくないところだけ叱ってあげるといいと思う。」と話されていました。聴かせていただき、その通りだなと改めて感じました。褒め2に対し叱り8の割合の我が身を振り返り赤面する思いです。

「褒める」というとたいそうに感じ、優れた行いをしたときなどに対してのもの、と思いがちですが、相手のことを認める、受け入れるぐらいのイメージで「ありがとう」や「いただきます」を口にするぐらいの感じで、日常的に伝え合えたらいいのにな、と思います。

少し話がズレますが、本校の職員が夏に秋田県大館市に研修に出かけた際に、視察先の学校の授業で取り組んでいたことの一つに反応を大事にしようというものがあったそうです。「反応を大事に」といっても具体的にどんなことを心がければいいのかしら？と思われるかも知れません。視察校では、授業中の誰かの発言に対し、「いいね!」「なるほど!」「すごーい!」「わたしもそう思う」「すばらしい」「ああ」など、感じたことをしっかりと言葉にして伝えあうようにしていたそうです。

視察研修を生かして行われた授業では、この「反応を大事に」をバージョンアップして紹介してくれました。それは、

子どもの発言に対して、他の子どもから出た^{感嘆}反応をカードにして、黒板の発言が書かれた横に貼りつける というものです。

この工夫により、発言に対する感想を子どもたちどうしが共有でき、反応するということをより意識でき、「反応を大事に」しようという気持ちにつながるのではないかと感じました。

考えは心の中で思っているだけでは相手に伝わらないことも多いので、口に出して伝えてあげることが大切だと思います。とくに、勇気を出して発表した時に言ってもらった「たしかに!」や「なるほど!」などの反応は、最高の褒め言葉だと思っています

脱線ついでに、個人的な話になりますが、ある学級通信に載せられていた、開校94周年を迎えた学校に向けてのメッセージ作文の中に次のような文章がありました。

…何さいかわからないけど、ぼくは、とても中春別小学校が**すき**です。

ぼくが中春別小学校の中で、1番すきなことは、全校朝会で**みんな**と、校長先生の話を聴くことです。中春別小学校を**えがお**にしたいです。中春別小学校これからも**かんばって**ください。

中春別小学校への感謝の気持ちがすごく伝わってきました。友達と一緒にいられることに対する嬉しい気持ちがしっかりと伝わってきました。そして、全校朝会での話のこと書いてくれて褒められたように感じ、とっても嬉しくなりました。大人だって褒められると嬉しいものですね。

イチイのギザギザの隙間からちらほら見える赤い実。宝物見つけたかのように嬉しそうに、子どもたちが見せてくれる椽色のどんぐり。学校を囲む樹々のところどころに混ざる朱や赤は季節がお色直しを始めたみたい。袖を風が過ぎるは秋中。どうぞお体にご留意いただければと存じます。

